

十和田市現代美術館企画展 開館10周年企画展

## 毛利悠子 ただし抵抗はあるものとする

毛利悠子は、私たちが日常生活で目にするものを展示空間に構成し、電気や磁力、空気の動きなど、普段は目に見えないエネルギーの存在を明るみに出します。

本展では、音響を使った大規模な彫刻作品、映像、版画、そして現場の中に即興で生み出されるインスタレーション（空間全体を使って表現する手法）を展示します。

とき 10月27日(土)～平成31年3月24日(日)  
午前9時～午後5時（入場は閉館の30分前まで）

休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）  
ただし、12月25日(火)から平成31年1月1日(火)は年末年始休館

観覧料 企画展＋常設展セット券 1,200円  
企画展の個別チケットは一般 800円  
20人以上の団体は100円引き 高校生以下無料

キュレーター 金澤 韻



「Childhood」展示風景 2018年  
パレ・ド・トーキョー（パリ）  
Photo courtesy Palais de Tokyo（参考画像）

企画展関連イベント

### アーティストトーク（毛利悠子登壇）

とき 11月3日(土) 午後4時～4時45分  
ところ 企画展示室  
※企画展のチケットと事前の申し込みが必要です。

現代美術館 ☎ 1127 FAX ☎ 1138  
メール info@towadaartcenter.com



もり ゆうこ  
毛利 悠子  
1980年生まれ。美術家。国内外で作品を発表し、第67回芸術選奨新人賞を受賞するなど、世界中の人々を魅了している。

photo by Naoko Maeda

ミニコンサート

### オープンミュージックスクエア

展覧会「超訳びじゅつの学校」（2013年）で生まれ、今もこっそり部活をしている「変音（へんね）部」。身近にある変な音、おもしろい音を使って心の会話をします。

とき 10月20日(土) 午前11時30分～正午  
ところ 休憩スペース

### 10月10日(水)は現代美術館 常設展示市民無料デー

マイナンバーカード、運転免許証や保険証など住所が確認できるものを受付に提示してください。

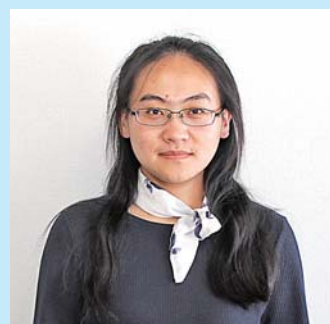
## 地域おこし協力隊（市街地地区隊員）任命 ～お気軽にお声がけください～

9月1日、市は地域おこし協力隊市街地地区隊員に上官妮娜さん（29）を任命しました。任期は最長3年（平成33年（2021年）8月末まで）。

中国出身の上官さんは、大学時代に日本語の学士学位を取得。地元昆明市では日本語交流会の常連となり、さらにコミュニケーション力を高められたそうです。

上官さんは日本語が堪能で「仕事をする上で大切なことは、責任感だと思います。外からの違った感覚で刺激を与えながら、市民とのコミュニケーションを図り、楽しみや悩みを共有することで地域づくりの支援をしていきたいです」と力強く意気込みを語っていました。

業務は主にアートによるまちづくりの展開・現代美術館と連携した観光・地域振興への活動支援、SNSを活用した観光情報配信・インバウンド対応のほか、来年度から稼働する十和田版DMOとも連携を図り、観光地域づくりに一緒に取り組んでいきます。当面の間は活動拠点を「14-54」に置き、市内をリサーチしながらネットワークを広げ、情報発信に努めます。



#### PROFILE

1988年生まれ。中国雲南省昆明市出身。武漢大学の経済とマネジメント学部物流管理学科卒業。さらに、华中科技大学外国語学部日本語学科にて学士学位取得。大学卒業後は地元新聞社に5年ほど勤務。中国の資本で設立された千葉県のIT関係の会社と巡り合い、来日。翻訳活動も行っており、今年2冊目が出版となった。